



トラックの日 (10月9日) ・健康チェックをはじめ 全国各地の高速道路PAなどで行動!

「ドライバー健康チェック」福岡 佐賀 鹿児島 合同で



福岡トラック部会と佐賀県本部は、9月30日(土)九州道・基山パーキングエリアでトラックの日の行動と位置付けて、トラックドライバーの健康診断を10時～14時まで行いました。参加者は福岡7名、佐賀7名(佐賀民医連5名)、鹿児島1名の15名でした。内容は、血圧測定、体脂肪測定、問診等を行い労働時間や運転時間、休息や休日などの聞き取りも行いました。懸山委員長(佐賀県本部)が話をした運転手は、1日12時間労働をしていて、自分の労働時間や残業時間などの労働契約内容も知らない運転手もあり、1日12時間労働が当たり前と思っている人もいました。別の労働者は、会社に文句(要求)を言っていたらリストラされそうだとの悩みもあり、今度相談したいと言われいつでも連絡してくださいと名刺を渡しました。受診者は13名(トラックドライバー)で、同時に行った春闘アンケートは10名集約しました。

京都は名神高速桂川PA上りで実施

京都トラック部会は、10月6日に名神高速桂川PA上りで総勢16人の参加で実施しました。当日雨が降り心配していましたが健康チェックは例年より人が集まり30枚用意していた生活習慣アンケートは午前中には、ほとんどなくなりました。トラック運転手への署名では、雨の中、傘をさしても足元がズブ濡れの中奮闘しました。



又朝から故障で止まっていた軽貨物「以前トラックの運転手」の人から話しかけられ、「トラックの運転手は、虐げられすぎ・休憩する駐車スペースの問題をもっと取りあげ運動してほしい」「最近こんなトラックの労働組合が運動をしているのははじめてみた」と「みんなでコーヒーでも飲んでくれ」と要求事項を封筒に書きその封筒の中にカンパを入れてくださっていました。



新潟は黒崎PAで実施

新潟では、10・9トラックの日行動を2017年10月6日に、北陸自動車道下り線黒崎PAにおいて、医療スタッフ5名を含む総勢16名の参加で行いました。今年も民医連の協力の基、トラックドライバーの健康チェック、春闘アンケート、労働相談を

行いました。血圧測定などの健康チェックを19名に受けてもらい、内3名が春闘アンケートに協力してくれました。この度の10・9トラックの日行動では、急いでいるドライバーが多く、なかなか足を止めてくれる人が少なかったです。もっと足を止めてもらえるような工夫が必要だと感じました。

今、争議職場のドライバーに声を掛け10・9トラックの日行動は建交労の取り組みであることを知らせたところ、組合員ではありませんが好意をもって健康チェックを受け、アンケートに回答してくれました。

医療スタッフからは、ドライバーは血圧の高い人が多いと指摘され、労働実態や睡眠、食事などについてももっと詳しく話を聞きたかったが、急いでいるドライバーが多くなかなか話が聞けませんでしたと言われました。

神奈川は東神TSで実施

神奈川県南支部は、10月6日(金)に神奈川県大和市内の東神TSの敷地内で恒例のトラックの日の行動を実施しました。行動参加者は、県南支部の8名と県本部の高橋書記長、ダンプ支部の稲川委員長、神奈川県北中央医療生活協同組合の3名の合計14名でした。

今年の行動は東神TSの建て替え工事がはじまっていたため、例年は室内で行っていた健康健康チェック活動を行う看護師さんチ

ェック活動は屋外での実施となりました。この日の天候は、あいにくの肌寒い曇り空で午後からは雨の予報もあって、健康チェック活動に協力していただいた神奈川県北中央医療生協の看護師さんは寒さをこらえての取り組みになりました。また、工事中でレストランや浴室、仮眠所、ランドリーなどの施設がないためSTに立ち寄るトラックは例年より少なく、立ち寄っても車内で仮眠をしているドライバーがほとんど、時折簡易トイレの利用やゴミ捨てるために車外に出てくるくらいです。こうした状況が影響して、健康チェックの受診者は6名、トラック労使の請願書名は76筆、トラック職場の春闘行動を終わった後に参加者による記念写真 アンケート回収は1名と例年より低調でした。





静岡は清水SAで実施

清水サービスエリアでのトラックドライバー健康チェックは、組合員6人、看護師2人で10時から開始をしました。

組合員は10時からドライバーの呼び込みと受診した運転手と対話し、建交労トラックビラ付きティッシュを渡し、長時間・過労運転にならないようにするにはトラック業界の

改善や法律を働く者の仕事・いのちを守る運動を説明しながら、労働組合も必要だとビラを通じて対話しました。15人の受診者を診断し、昼食も少ない時間で済ませ、適切なアドバイスをしていただいた2人の看護師さん奮闘にも感謝です。10時から15時の予定でしたが、雨模様になり予定を30分繰り上げて14時30分に撤収・終了しました。

東京、埼玉は大宮TSで実施

建交労東京・埼玉トラック部会で毎年恒例のトラックの日行動を大宮トラックステーションにて開催しました。医療生協さいたまの保健師5人の協力のもと、組合員21人の総勢26人で行動し、健康チェックは17名が受診し、その他



トラック職場のアンケート39枚、グッズ配布400部配布をおこないました。保健師からは『血圧が高め、体重が重め、体脂肪が高め』との特徴があげられました。

愛知は一宮PAで実施

10月9日、トラックの日の行動として、名神高速道路、尾張一宮下り線PAに於いて、ドライバーの「健康チェックとチラシ宣伝」行動を展開しました。

行動には、民医連の千秋病院から3名の看護師らも参加し、血圧測定、体脂肪率、尿・

貧血チェックなどを行いました。健康チェックに参加された方からは、「昔、長距離運転手を行って来たが、こうした取り組みは、助かりますね、頑張ってください」と激励をいただきました。健康チェックには25の方が参加していただきました。宣伝行動では、家族連れ参加もあり、子供を含め全体で16名が行動をしました。用意した600枚の建交労ティッシュビラは全部配布しました。

香川において3県合同で実施

10月10日、香川県豊浜SAでトラックの日行動を行い愛媛県本部、香川県本部、高知県本部、愛媛いの健センターから計8名が参加しました。この行動はトラック労働者の就労実態や要求を調査するためにアンケート活動を行い、今年で4回目を迎えます。アンケートの集約は8筆と昨年の13筆からかなり減少しましたが、わずかな休憩時間の中、トラックドライバーの皆さんは快くアンケートに協力いただきました。



アンケートの中で、「昨年より仕事が増えているが、賃金に反映されていない。」「休息の車の中で仮眠のみで、疲れが取れないまま運転をしている。」といった訴えがありました。8人のドライバー全てが運転中に居眠り事故をおこしそうになったと回答がありました。これらのように、低賃金長時間労働のためにトラックドライバーの減少が大きな問題となっています。

今後もトラック労働者の組織拡大・要求実現のため、この取り組みを続けていきます。



広島は宮島SAで実施

建交労広島県本部は、10月10日(火)に「トラックの日・ドライバー健康チェック」行動を山陽道「宮島サービスエリア」(下り線)で実施しました。

今回の「トラックの日」行動には、建交労福山地域支部と広島地域支部の組合員やダンプ支部、県本部から6人と医労

連、中央保健生協の看護師さん5人の合計11人が参加しました。

休憩でサービスエリアに立ち寄るトラック運転手を中心に建交労の秋闘のティッシュ付きのビラを配りながら「トラックの日でドライバー健康チェックを実施しています」と呼びかけました。

この日は10人あまりが血圧を測ったり体脂肪を測ったりして健康チェックを受け対話しました。アンケートでは連続運転4～5時間の労働者や血圧が高めの労働者が3人、一週間のうち自宅に帰れる回数については、『長い時は10日に一回』という人もいました。薬も常用している労働者も複数いました。

参加した看護師さんは「トラック労働者の厳しい労働実態の一端が分かりました」と話していました。建交労の参加者からは「次回は『トラックの日、ドライバー健康チェック実施中』の桃太郎旗があったらいいと思う」との感想もありました。

釧路で街頭宣伝活動を実施

10月9日、釧路地域支部の組合員5名でトラックの昼休憩の駐車場で街頭宣伝活動を行いました。

場所は、白糠道の駅「恋問い館」と「馬主来」駐車場で、トラック部会のチラシと「建交労ティッシュ」を用意し実施しました。

天候がひどい霧雨と、「トラックの日」が祭日と重なり平日よりトラックの駐車がなく12台の運転手に呼び掛けるにとどまりましたが今後につながる活動でした。

「チラシ」は建交労のホームページから「トラック部会」の案内を参考に作成しました。



大阪、兵庫でも

「トラックの日」行動を実施！

「トラックの日」の行動は、大阪、兵庫でもおこなわれ、全体では12カ所で取り組まれました。また、11月には長崎トラック部会でも実施する予定です。詳細は、雑誌建交労12月号で紹介しします。



<京都>

<広島>



<神奈川>



<東京・埼玉>



<愛知>